

H.26  
(2014年)

## 八月（今月の掲示板）

しんしゅうおおたには  
真宗大谷派・願成寺

### 人間の本性（本質）は、煩惱である

本性（本質）とは、生まれつきの性質<sup>せいしつ</sup>＝動物本能です。三毒の煩惱とは『貪欲（幾らでも欲しがる）・瞋恚（怒り妬む）・愚痴（因果を認めぬ）の心』です。親鸞聖人は「生きている限り、煩惱は消えず・『煩惱具足の凡夫』＝煩惱に塗れた普通の人』の我ら」と言われました。私達は人に注意されると腹が立ち・褒められるとイイ気分になります。煩惱は『因縁（原因と条件）により生まれる』とハツキリ自覚<sup>じかく</sup>することが『覺り＝信知』です。正信偈の『不斷煩惱得涅槃』＝煩惱を消さず・覺りを得る』は、『煩惱を消そうとするのも煩惱』との親鸞聖人の自覚です。人間が生きて行くには、煩惱が不可欠です。が、自分の幸せに執着すると三毒の煩惱を招き、人と争うことになります。煩惱を消せない人間を救いたいとの願いが『阿弥陀仏の本願（第18願）』です。何時でも・何処でも・誰の上にでも現れて下さる阿弥陀仏が、『全ての人を必ず救うぞ』との御呼び声が、念佛なのです。

主な参考資料

- (1) 田中教照(著)『日本人のこころの言葉・親鸞』、創元社、p. 134～137(2011年)。
- (2) 武田定光(著)『新しい親鸞』、雲母書房、p. 202～213(2005年)。
- (3) 一楽真(著)『親鸞聖人に学ぶ・真宗入門』、東本願寺、p. 162～166(2007年)。